

紀伊半島大水害 復旧・復興の現状と取組

平成26年11月更新版

奈良県紀伊半島大水害
復旧・復興推進本部

目 次

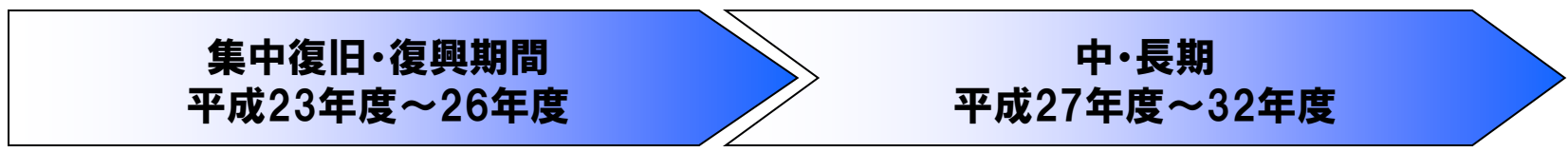
◆ 奈良県紀伊半島大水害復旧・復興計画の概要	P	1
◆ これまでの復旧・復興の主な動き	P	2
◆ 復旧・復興関係の予算概要	P	3
◆ 避難の状況	P	4
◆ 避難生活の早期解消に向けた取組の状況	P	7
◆ 新しい集落づくり	P	9
◆ インフラ等の復旧状況	P	10
◆ 紀伊半島アンカールート	P	18
◆ 農林業関係の復旧状況	P	20
◆ 産業の復興状況	P	26
◆ 観光業の復興状況	P	28
◆ 福祉の充実	P	31
◆ 安全・安心への備え	P	32
◆ 地域産業復興の取組	P	37
◆ ふるさと復興協力隊	P	38

◆奈良県紀伊半島大水害復旧・復興計画の概要

◆基本方針

百年の計に立ち、「災害に強く、希望の持てる」地域を目指す。

◆計画期間：平成23年度～32年度までの10年間



◆復旧・復興に向けた取組方針

<p>① 被災地域の迅速な立ち直り・回復</p> <p>○ 地域住民が被災前の日常生活を一日も早く取り戻すことを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none">・道路等の応急復旧、土砂ダム対策・避難者、被災者支援・生業・産業支援	<p>② 地域の再生・再興</p> <p>○ 過疎化や高齢化が進行する被災地域が、将来にわたり希望を持ち、安全に安心して住み続けることのできる地域とすることを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none">・災害に強いインフラづくり・新しい集落づくり・産業・雇用の創造(林業、観光等)・くらしづくり(教育、医療、福祉等)
<p>③ 安全・安心への備え</p> <p>○ 紀伊半島大水害の経験を踏まえ、今後の災害に備え、安全・安心のための新たなシステムづくりを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none">・監視・警戒・避難のシステムづくり・深層崩壊のメカニズム解明と対策研究・記録の整備、次世代への継承	<p>【復旧・復興の7つのポイント】</p> <ul style="list-style-type: none">・長期避難者の早期解消・新しい集落づくり・紀伊半島アンカールートの整備・安全・安心への備え・地域経済を支える産業に対する支援・ふるさと復興協力隊・森林資源を活用した地域づくり

◆これまでの復旧・復興の主な動き(計画策定以降)

平成24年

3月26日 第6回本部会議
・「復旧・復興計画」及び「同アクション・プラン」の確定について
・平成24年度以降の復旧・復興推進体制について
(本部会議に計画推進会議及び計画推進チーム(8チーム)を設置)

4月 1日 復旧・復興担当副知事を配置
・土木部に深層崩壊対策室設置
・南部農林振興事務所に「復旧・復興調整係」設置

4月24日 第23回紀伊半島知事会議

5月18日 「災害復旧・復興に係る国の法令等の改善について」の政府提案活動

6月 5日 第3回国・三県合同対策会議(東京)

6月11日 第7回本部会議

8月31日 避難者の早期帰宅に向けた知事・3市村長
記者会見

9月 6日 第1回復旧・復興シンポジウム

9月10日 第8回本部会議

11月26日 第9回本部会議

平成25年

1月28日 復旧・復興関係の3県(奈良県・和歌山県・
三重県)合同政府提案活動

2月19日 第10回本部会議

6月13日 第11回本部会議

9月 2日 第12回本部会議

9月 5日 第2回復旧・復興シンポジウム
～インタープリバント2014プレイベント共催～

11月11日 第13回本部会議

11月23日～24日 なんゆう祭(南部地域産業復興推進大会)

平成26年

2月24日 第14回本部会議

4月30日 十津川村避難解消

6月11日 第15回本部会議

7月20日 野迫川村避難解消

9月 1日 第3回復旧・復興シンポジウム

9月11日 第16回本部会議

10月4日～5日 なんゆう祭2014

11月15日 天皇皇后両陛下 紀伊半島大水害被災者
とのご懇談

11月20日 第17回本部会議

◆復旧・復興関係の予算概要

【平成23年度】

・予備費充用額	<u>62百万円</u>
・知事専決処分	<u>6,905百万円</u>
・9月補正予算	<u>7,288百万円</u>
・11月補正予算	<u>18,644百万円</u>
・2月補正予算	<u>501百万円</u>

【平成24年度】

・当初予算額	<u>25,371百万円</u>
・9月補正予算	<u>180百万円</u>
・12月補正予算	<u>192百万円</u>
・2月補正予算	<u>5,136百万円</u>

【平成25年度】

・当初予算額	<u>21,981百万円</u>
・6月補正予算	<u>434百万円</u>
・9月補正予算	<u>7百万円</u>

【平成26年度(平成25年度2月補正予算含む)】

・平成26年度当初予算	<u>21,262百万円</u>
・平成25年度2月補正予算	<u>1,842百万円</u>
合計	23,104百万円

- ① 被災地域の迅速な立ち直り・回復
 - 道路等の応急復旧、土砂ダム対策 4,697百万円
 - 避難者・被災者支援 19百万円
 - 生業・産業支援 64百万円
- ② 地域の再生・再興
 - 災害に強いインフラづくり 17,146百万円
 - 新しい集落づくり 290百万円
 - 産業・雇用の創造(林業、観光等) 626百万円
 - くらしづくり(教育、医療、福祉等) 37百万円
- ③ 安全・安心への備え
 - 監視・警戒・避難のシステムづくり、深層崩壊のメカニズム解明と対策研究 110百万円
 - 記録の整備、次世代への継承 1百万円
- ④ その他
 - 復旧・復興の推進 114百万円

・9月補正予算	<u>6百万円</u>
---------	-------------

◆避難の状況

【これまでの取組成果】

被災直後（平成23年9月5日）938人 → 現在（平成26年11月17日）21人
 ※十津川村と野迫川村の避難は全て解消
 ※平成26年度中には、すべての避難者が帰宅可能となる見込み

◇避難者数

※避難世帯数、避難者数には自主避難を含む

年月日		市町村数	避難所数 (箇所)	避難世帯数 (世帯)	避難者数 (人)
被災直後	H23年 9月5日 11:00	1市 1町 7村	52	359	938
前回報告	H26年 9月1日	1市	0	14	25
現在の 状況	H26年 11月17日	1市	0	11 〔うち避難勧告・指示対象 11〕	21 〔うち避難勧告・指示対象 21〕

◇被災直後からの増減
 世帯数 ▲348
 人数 ▲917
 ◇前回報告からの増減
 世帯数 ▲3
 人数 ▲4

◇避難者のうち応急仮設住宅の入居者数(平成26年11月17日現在)

市町村名	仮設 箇所数	26年11月17日現在		前回(26/9/1)		増減	
		世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数
五條市	2箇所	7	13	10	17	▲3	▲4
野迫川村	0箇所	0	0	0	0	0	0
十津川村	0箇所	0	0	0	0	0	0
合計		7	13	10	17	▲3	▲4

◇避難者の推移及び今後の帰宅等予定時期

【市村別の避難者数の推移】

	五條市		野迫川村		十津川村	
	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数
23年9月(ピーク時※)	105	204	114	239	237	427
前回報告(26/9/1)	14	25	0	0	0	0
26年11月17日現在	11	21	0	0	0	0
(ピーク時との増減)	▲ 94	▲ 183	▲ 114	▲ 239	▲ 237	▲ 427
(前回との増減)	▲ 3	▲ 4	0	0	0	0

※ピーク時 五條市:9月4日 野迫川村:9月4日 十津川村:9月5日

【今後の帰宅等が可能となる目処】

	五條市		野迫川村		十津川村		合計	
	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数
26年12月下旬	11	21	-	-	-	-	11	21

※ 【帰宅等が可能となる目処】は、避難の原因を解消するための対策工事が完了する予定の時期等を記載。
 なお、実際に避難者の帰宅が完了するのは、上記に引越期間等(概ね1~2ヶ月)を考慮した時期となる予定。

◇天皇皇后両陛下 紀伊半島大水害被災者とのご懇談

- ・「全国豊かな海づくり大会」への出席のため、奈良県をご訪問された両陛下は、11月15日、県立万葉文化館で、紀伊半島大水害の被災者とご懇談されました。
- ・両陛下は、被災者一人一人の話に耳を傾けられ、いたわりの言葉をおかけになりました。
- ・ご懇談の最後、天皇陛下は「今度の経験を生かして地域の安全性を高められるよう願っています」と述べられました。



懇談者（被災者） 9名

（内訳）

- ・五條市 3名
- ・野迫川村 3名
- ・十津川村 3名

懇談の様子（平成26年11月15日撮影）

◆避難生活の早期解消に向けた取組の状況

◇主な地区の状況

【辻堂地区】 ※避難指示(一部避難勧告)発令中

避難世帯	避難者数
11世帯 (うち仮設7世帯)	21人 (うち仮設13人)

(平成26年11月17日現在)

○避難生活の解消に向けた取り組み状況

- ・市内中心部など地区外での生活を希望された避難者は、市営住宅等への転居が完了。
- ・自宅等へ戻ることを希望される避難者は、避難指示・避難勧告の解除後に帰宅可能となる（解除時期については、柳谷の堰堤工事の進捗状況により、五條市が判断）。
- ・県と五條市が共同して、地区の復興住環境整備に向けた検討を実施。
- ・地区全体の復興集落づくりに向けた取組について、県が専門技術的な支援のできるコンサルタントに委託し、支援を実施中。

○関連する工事等の状況

- ・鍛冶屋谷の堰堤工事は完成済みであり、現在山腹工を実施中。
- ・柳谷は、平成26年3月に法面上の石の不安定化や崩落部の拡大が確認されたため、新たな対策工を実施し、8月末に堰堤の床堀と法面对策工を完了。
本堰堤工の完成は、12月下旬になる見込み。
- ・国道168号（現道）の橋梁復旧は、8月末に完了。
国道168号（現道）は、辻堂地区の避難指示・避難勧告の解除にあわせて通行再開する予定。

被災直後（柳谷）



平成23年9月撮影

平成25年台風18号被災後



平成25年9月撮影

現状：本堰堤工コンクリート打設



平成26年10月21日撮影

◇復興住宅の建設状況

【これまでの取組成果】

住宅被害を受けた被災者向けの復興住宅が全て完成し、避難者が入居済み

○復興住宅の内訳

・五條市	阪本(天辻)地区	4戸	
	宇井地区	2戸	
・野迫川村	北股地区	5戸	
・十津川村	谷瀬地区	4戸	
	猿飼(高森)地区	9戸	計24戸



阪本(天辻)地区
(平成26年5月15日撮影)



宇井地区
(平成26年8月20日撮影)

【今後の取組予定】

3市村の取り組みを引き続き支援

○五條市

宇井・清水地区では、最優先課題であった復興住宅が完成。引き続き集落基盤(道路、集会所、公園等)の復旧復興を支援。辻堂地区も含め、公共施設の活用についても議論

○野迫川村

北股地区では、復興住宅が完成し、集落全員の帰宅が完了。土砂崩壊で流された集落基盤(道路、橋、駐車場等)の復旧復興支援を継続

○十津川村

復興住宅が完成し、災害を契機とした村の芯づくり事業を推進(詳細は次頁参照)



北股地区
(平成26年7月16日撮影)



北股地区
(平成26年7月16日撮影)



谷瀬地区
(平成26年5月4日撮影)



猿飼(高森)地区
(平成26年5月4日撮影)

◆新しい集落づくり

【これまでの取組成果】

- ・十津川村において、今後のモデルとなる安心拠点集落として谷瀬地区と高森地区を選定
- ・集落づくりを組織横断的に進めるため、役場内に「活力と魅力あふれる村づくり推進委員会」を設置
- ・谷瀬地区と高森地区に、集落景観に調和した復興住宅を建設
- ・モデル的な集落拠点整備として、「やりがい・生きがい『谷瀬』プロジェクト」および「助け合い・支え合い『高森』プロジェクト」における具体的な取り組みを検討

やりがい・生きがい『谷瀬』プロジェクト

「集落が一体となって、やりがい・生きがいを得られる場をつくる」

■受入環境整備事業(H26.3～)

- ・沿道の花植、案内看板作成設置、遊歩道の整備など

■交流活性化事業(H26.3～)

- ・新たな滞在プランづくり、誘客イベントの企画・実施
- ・移住・定住に向けた仕組みと受入体制の整備、空き家改修等による交流拠点施設の検討など

■特産品開発事業(H26.3～)

- ・先進地の取組(加工所・農産物販売所など)の導入
- ・新たな農産物加工品等の開発など



遊歩道の整備(休憩施設)



空き家改修のイメージ

助け合い・支え合い『高森』プロジェクト

「村に最期まで住み続け、助け合い支え合う住まい方モデルを実現する」

■助け合い・支え合い「高森のいえプロジェクト」事業(H26.4～)

- ・特別養護老人ホームと連携した「高齢者向け住宅」等の整備検討。年度内に基本設計に着手。
- ・「高齢者向け住宅」等とともに、U、Iターン者を想定した住宅整備及び集落内外からの人もくつろげる集落空間の構築検討
- ・奥深い集落での単身高齢者等の日常生活支援を併せて議論



高森のいえ模型



集落空間のイメージ

◆インフラ等の復旧状況

◇大規模崩壊への対策

【これまでの取組成果】

大規模崩壊対策が必要となった18箇所（県12箇所、国6箇所）について、

- ・ 県は、御杖村土屋原、天川村広瀬、土津川村小井、土津川村宇宮原、土津川村今西の5箇所が完了し、全体で6箇所完了。6箇所において工事継続中。
- ・ 国は、6箇所です工事継続中（平成26年10月末現在）

○県による大規模崩壊対応12箇所

〔災害関連緊急事業：H26年度9箇所完了、H27年度3箇所完了〕
〔※山腹工等は通常砂防事業で引き続き実施予定〕

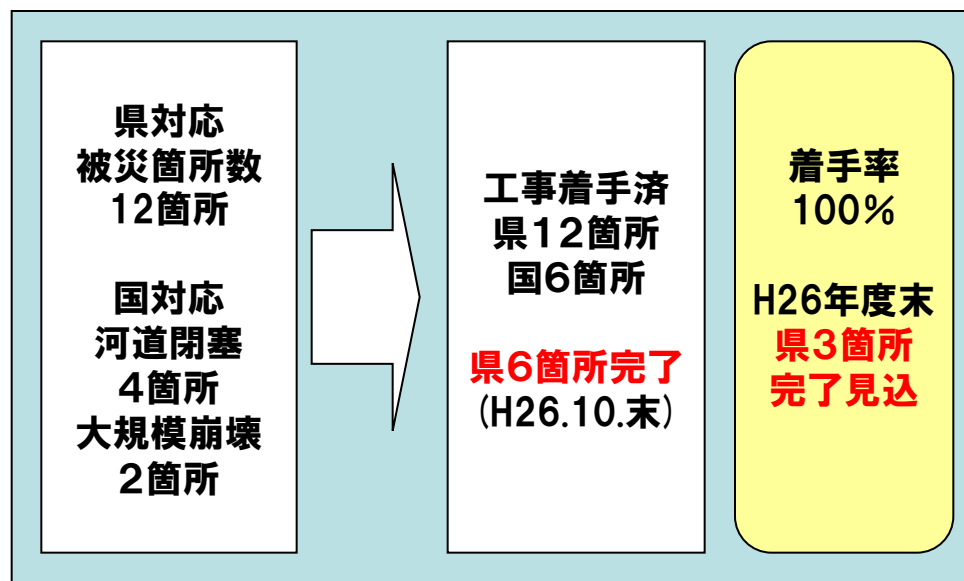
○国による河道閉塞・大規模崩壊対策6箇所

〔 H28年度完了 〕

【前回(9月)との比較】

完了箇所 1箇所 → **6箇所** (県)

変更なし(完了箇所なし) (国)



【今後の取組予定】

- ・ 県実施の6箇所のうち、鍛冶屋谷、赤滝、中戸の3箇所の工事を平成26年度末までに完了させ、柳谷、重里、折立の3箇所については、平成27年度に完了予定
- ・ 柳谷については、**平成26年12月下旬**に避難解除の判断となる本堰堤工を完了させ、その後、前庭保護工・山腹工を実施予定

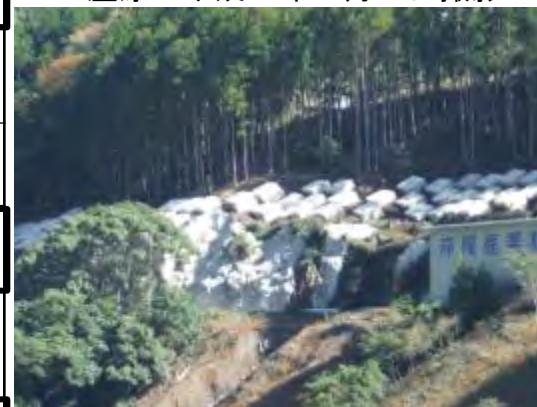
※国実施工事は、平成28年度の完了に向けて引き続き工事を実施

県による復旧・対策状況(大規模崩壊)

箇所名	主な工事内容	完成目標	H26年10月末までの進捗状況
			※は台風11号被災による工期延期への対応・復旧状況
①五條市大塔町 辻堂柳谷	堰堤工 山腹工	H28. 3	堰堤工の床堀工が完了し、本堤コンクリート工に着手。 H26年12月下旬に本堰堤工を完了させ、山腹工はH27年度着手予定
②五條市大塔町 辻堂鍛冶屋谷	堰堤工 山腹工	H27. 3	堰堤工が完成 山腹工を施工中
③御杖村土屋原	堰堤工 溪流保全工	H26. 9	工事完了(9月完了)
④黒滝村赤滝	堰堤工	H27. 3	堰堤工(1号)が完成 堰堤工(3号)を施工中 ※工事用道路復旧完了
⑤黒滝村中戸	堰堤工 溪流保全工	H27. 3	堰堤工(本堤)が完成 前庭保護工、溪流保全工を施工中
⑥天川村広瀬 (地すべり対策工事)	集水井工 アンカー工	H26. 10	工事完了(9月完了)
⑦十津川村重里	堰堤工 溪流保全工,橋梁工	H27. 8	堰堤工(本堤)が完成 前庭保護工、溪流保全工を施工中 ※国道425号復旧完了、堆積土砂撤去中
⑧十津川村小井 (地すべり対策工事)	集水井工 アンカー工	H27. 1	工事完了(10月完了)
⑨十津川村折立 (地すべり対策工事)	横ボーリング工 押え盛土工、アンカー工	H28. 3	横ボーリング工が完成 押え盛土工、アンカー工を施工中 ※盛土法面整形完了、工事用道路復旧中
⑩十津川村宇宮原 (地すべり対策工事)	横ボーリング工 押え盛土工、アンカー工	H26. 10	工事完了(10月完了)
⑪十津川村今西 (地すべり対策工事)	集水井工 アンカー工	H26. 12	工事完了(10月完了)
⑫東吉野村麦谷	堰堤工	H26. 8	工事完了



土屋原 平成26年10月16日撮影



小井 平成26年10月24日撮影



今西 平成26年10月31日撮影

※ 復旧完了箇所

国による復旧・対策状況

箇所名	完成目標	今後の予定工事	H26年度 工事实施内容	H25年度までの進捗状況	備考
赤谷(五條市大塔町)	28年度	砂防堰堤工 等	砂防堰堤工	仮排水路工完成	河道閉塞
清水[宇井](五條市大塔町)	28年度	法面工、護岸工 等	法面工	仮設護岸工完成	大規模斜面崩壊
北股(野迫川村)	28年度	砂防堰堤工 等	砂防堰堤工、溪流保全工	仮排水路工完成	河道閉塞
坪内(天川村)	28年度	法面工、河道拡幅、護岸工 等	法面工、河道拡幅	仮設護岸工完成	大規模斜面崩壊
長殿(十津川村)	28年度	砂防堰堤工、水路工、排土工 等	砂防堰堤工	仮排水路工完成	河道閉塞
栗平(十津川村)	28年度	砂防堰堤工、排土工 等	土砂掘削工(切土工)	仮排水路工完成	河道閉塞

長殿地区状況



平成26年10月31日撮影
(砂防堰堤設置状況)

栗平地区状況



平成26年10月30日撮影
(仮排水路設置状況)

坪内地区状況



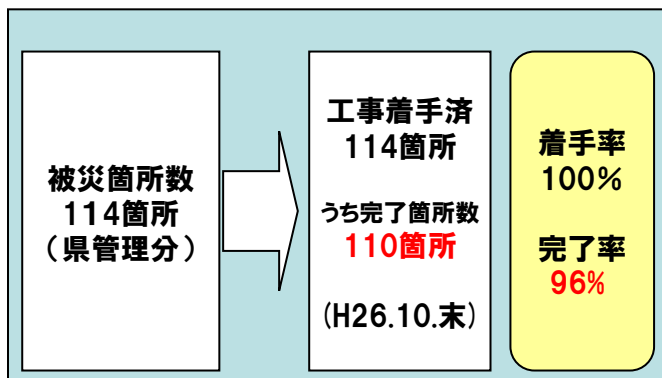
平成26年10月30日撮影
(河道掘削状況)

◇河川・砂防の災害復旧事業

【これまでの取組成果】

河川・砂防（県管理）の災害復旧事業の114箇所について、

- ・ 熊野川（十津川村宇宮原）、神納川（十津川村内野～杉清） の2箇所が完了し、
全体で**110箇所**が完了
- ・ **4箇所**において工事継続中（平成26年10月末現在）

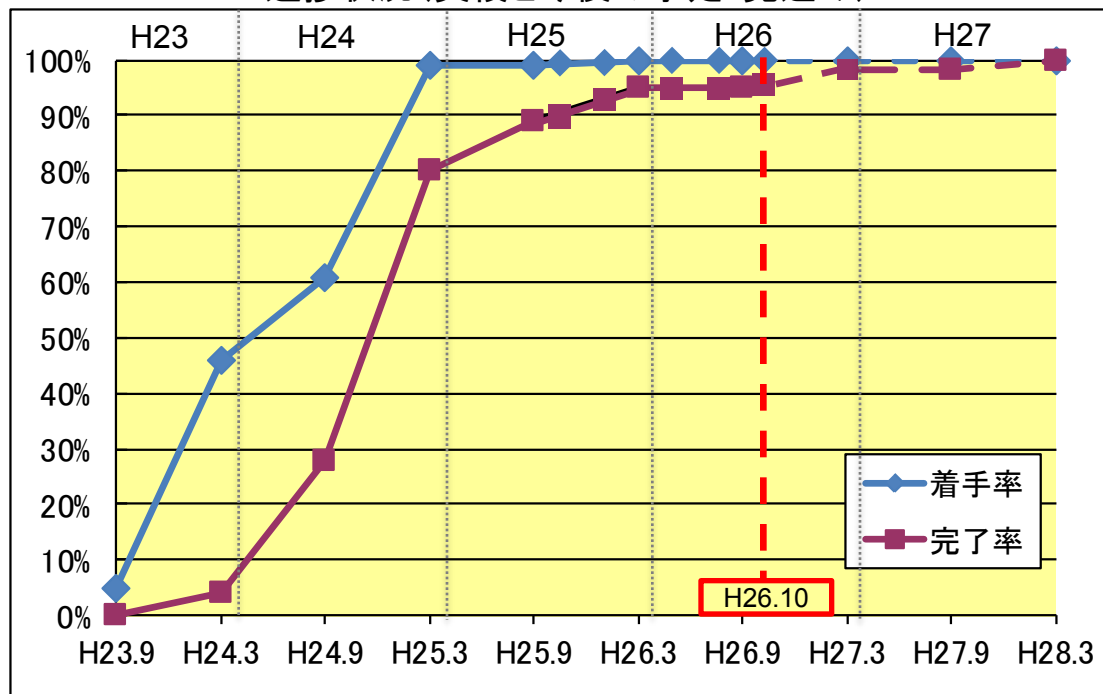


【前回(9月)との比較】

完了箇所 108箇所 → **110箇所**

完了率 95% → **96%**

進捗状況(実績と今後の予定・見込み)



河川・砂防(市町村) 復旧対象:30箇所完了

【今後の取組予定】

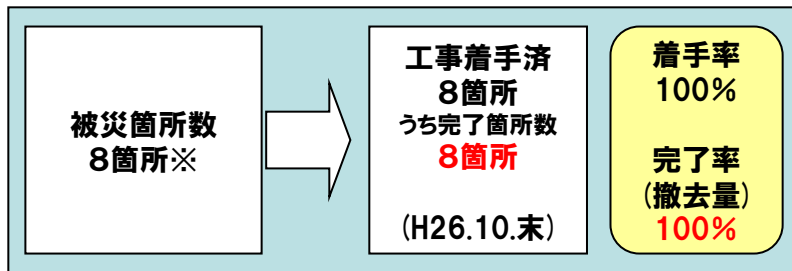
- ・ 熊野川(十津川村宇宮原)護岸、北山川(十津川村竹筒)の2箇所は平成26年度に完了予定
- ・ 熊野川(五條市大塔町宇井)と熊野川(十津川村七色)の2箇所は平成27年度に完了予定

○河川堆積土砂の撤去

【これまでの取組成果】

- ・被災8箇所**すべて**の撤去が完了
- ・紀伊半島大水害により堆積した土砂（221万m³）の**全量**を撤去（平成26年10月末現在）

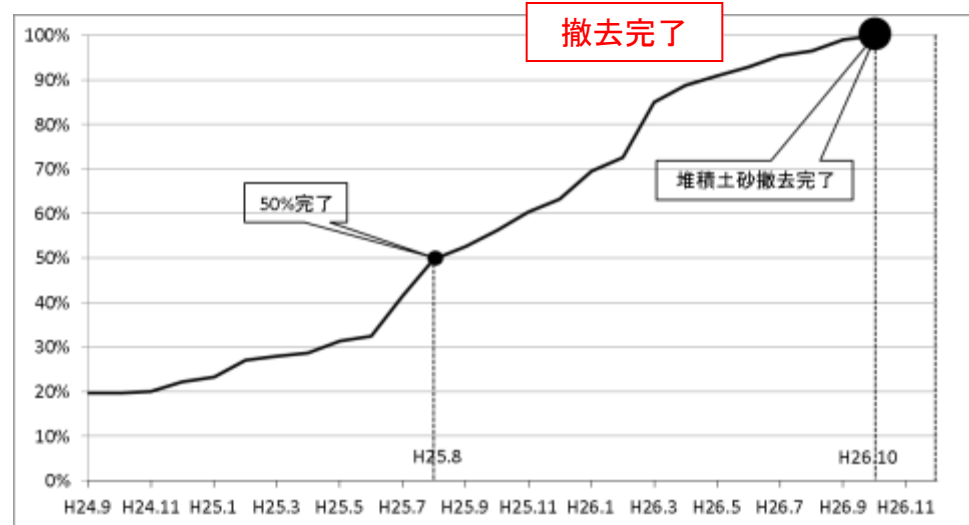
河道内の大規模な堆積土砂の撤去（河川・砂防災害の内数）



※熊野川 天川村坪内、五條市大塔町宇井、十津川村宇宮原、野尻川原樋川 五條市大塔町清水
神納川 十津川村内野～杉清
山手川 十津川村山手
北山川 下北山村下池原

【前回（9月）との比較】96%→**100%土砂撤去完了**

◆堆積土砂撤去土量進捗状況



※平成25年台風18号により熊野川（十津川村宇宮原）、神納川（十津川村内野～杉清）に堆積した土砂については、今年度に撤去に着手する予定。

※平成26年台風11号の神納川（十津川村内野～杉清）等については、災害復旧等で対応。

県による復旧・対策状況(河川災害)(平成26年度継続分)

河川名	箇所	主な工事内容	完成目標	H26年10月末までの実施内容 ※は台風11号被災による工期延期への対応・復旧状況
①熊野川	五條市 大塔町 宇井	護岸工	H28. 3	掘削工、盛土工及び残土処理工を施工中 ※残土処分地の復旧について調査中
②熊野川	十津川村 七色	護岸工	H27. 12	法覆護岸工施工中 ※被災した護岸工、工事用道路は復旧済
③北山川	十津川村 竹筒	護岸工	H27. 3	出水期は工事を行わないため11月から再開 ※再開後、工事用道路を復旧予定
④熊野川	十津川村 宇宮原	護岸工	H27. 3	出水期は工事を行わないため11月から着工 ※着工後、工事用道路を復旧予定
⑤熊野川	十津川村 宇宮原	河川堆積 土砂撤去	H26. 12	撤去完了(10月完了)
⑥神納川	十津川村 内野～ 杉清	河川堆積 土砂撤去	H26. 9	撤去完了(9月完了)

※ 復旧完了箇所



熊野川(五條市大塔町宇井)
平成26年10月31日撮影



熊野川(十津川村七色)
平成26年10月30日撮影

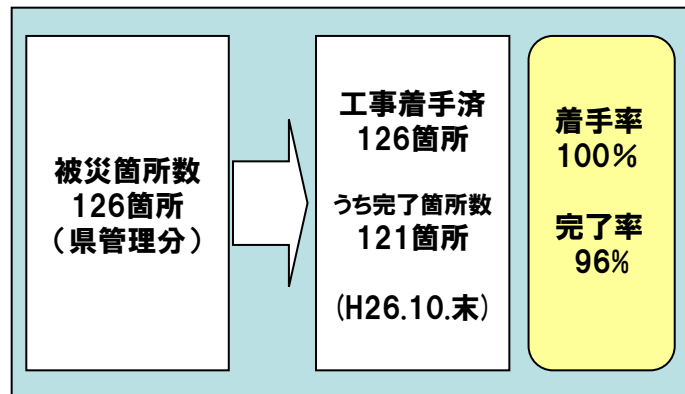


北山川(十津川村竹筒)
平成26年10月31日撮影

◇道路の災害復旧事業

【これまでの取組成果】

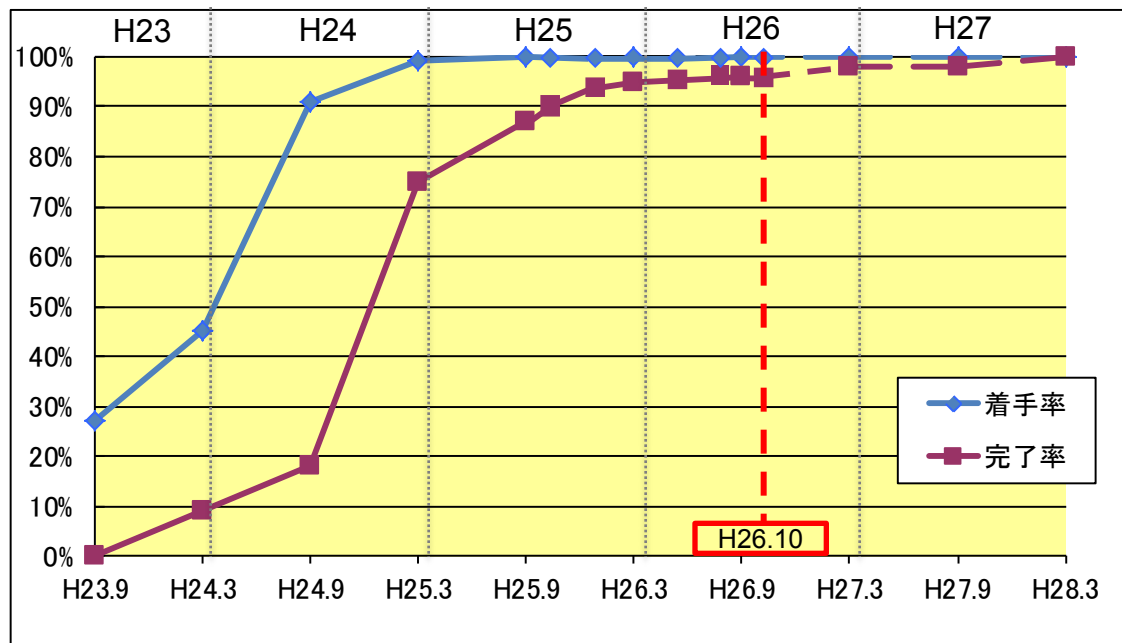
- ・道路災害復旧事業（県）は、126箇所中121箇所です完了
- ・5箇所において工事継続中（平成26年10月末現在）



【前回(9月)との比較】

変更なし

進捗状況(実績と今後の予定・見込み)



道路災害復旧事業(市町村):158箇所 →完了 156箇所(完了率99%) (H26.10末現在)

【今後の取組予定】

- ・国道168号(十津川村長殿)、国道169号(川上村迫)及び国道369号(宇陀市榛原内牧)の3箇所は平成26年度に完了予定
- ・篠原宇井線(五條市大塔町惣谷)と高野天川線(芦ノ瀬)の2箇所は平成27年度に完了予定

県による復旧・対策状況(道路災害・災害関連)(平成26年度継続分)

路線名	箇所	主な工事内容	完成目標	H26年10月末までの進捗状況
				※は台風11号被災による工期延期への対応・復旧状況
①国道168号	五條市 大塔町辻堂	橋梁上部工 崩土除去工	H26. 8	工事完了
②国道168号	十津川村 長殿	橋梁工 仮橋撤去工 崩土除去工	H27. 3	橋梁はH26年3月28日に復旧完了崩土除去に伴う現地整地工を実施中
③国道169号	川上村迫	崩壊法面对策工 橋梁工 取付土工 仮橋撤去工	H27. 3	橋梁下部工(橋台2基、橋脚2基)は完了 橋梁上部工は 床版工を施工中 法面对策工実施中(アンカー工)
④国道369号	宇陀市 榛原内牧	排土工 法粹工 アンカー工 吹付工	H27. 1	排土工、法面对策工等を施工中
⑤篠原宇井線	五條市 大塔町惣谷	集水井工 横ボーリング工 アンカー工	H28. 3	伐採工、仮設工、横ボーリング工、 集水井工を施工中
⑥高野天川線 (芦ノ瀬)	天川村 南日裏	法粹工 アンカー工 横ボーリング工 橋梁上部工 流路工 他	H28. 3	引き続き法面对策工等を施工中 ※流出土砂の処分、被災した法粹工部分の測量・修正設計を完了



国道169号(川上村迫)
平成26年10月28日撮影



国道369号(宇陀市榛原内牧)
平成26年10月29日撮影



高野天川線(天川村南日裏)
平成26年10月28日撮影

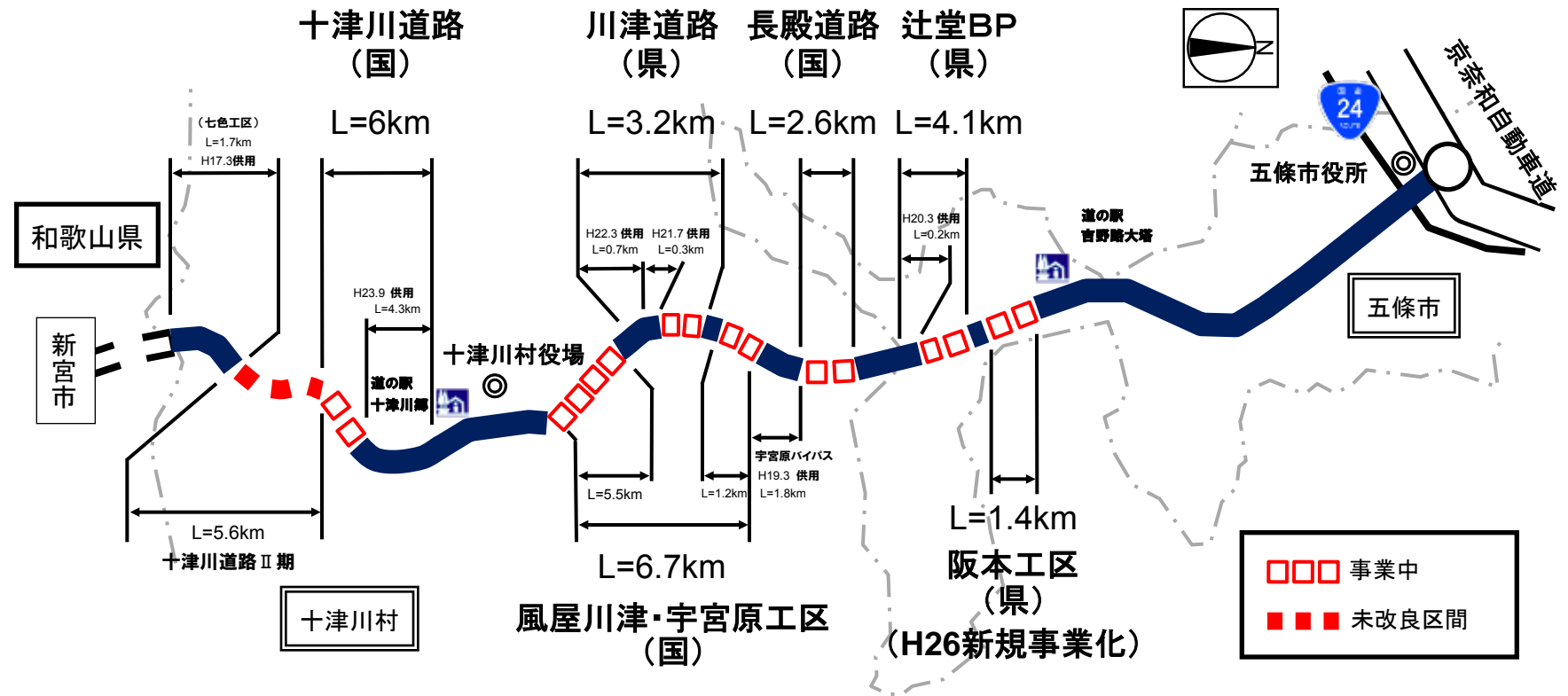
※ 復旧完了箇所

◆紀伊半島アンカールート

【これまでの取組成果】

- ・長殿道路(平成24年度)、風屋川津・宇宮原工区(平成25年度)が直轄権限代行により新規事業化
- ・阪本工区(平成26年度)が国庫補助により新規事業化。既存事業区間も、着実に整備を実施中

【紀伊半島アンカールート 国道168号五條新宮道路の進捗状況】



紀伊半島アンカールートの進捗状況

路線名	箇所	主な工事内容	H26年10月末までの進捗状況
国道168号	十津川道路 (国)	トンネル 3箇所 橋梁 2橋	<ul style="list-style-type: none"> ・H23.9 L=4.3km部分供用(トンネル2箇所、橋梁1橋) ・今戸高架橋は下部工施工中 ・用地買収実施中
国道168号	風屋川津・宇宮 原工区 (国)	トンネル 5箇所 橋梁 6橋	<ul style="list-style-type: none"> ・H25年度直轄権限代行により新規事業化 ・調査設計を実施中
国道168号	川津道路 (県)	トンネル 3箇所 橋梁 2橋	<ul style="list-style-type: none"> ・H21.7 L=0.3km部分供用(橋梁1橋) ・H22.3 L=0.7km部分供用(トンネル1箇所) ・河津大橋は上部工完了 ・高津トンネルは掘削工施工中 ・国王トンネルは南側坑口周辺土工施工中 ・用地取得完了
国道168号	長殿道路 (国)	トンネル 2箇所 橋梁 3橋	<ul style="list-style-type: none"> ・H24年度直轄権限代行により新規事業化 ・調査設計、用地買収を実施中
国道168号	辻堂バイパス (県)	トンネル 2箇所 橋梁 10橋	<ul style="list-style-type: none"> ・H20.3 L=0.2km部分供用(橋梁1橋) ・天ノ川大橋、新閉君橋上部工架設中 ・堂平大橋は下部工に着手
国道168号	阪本工区 (県)	トンネル 1箇所 橋梁 1橋	<ul style="list-style-type: none"> ・H26年度国庫補助により新規事業化 ・測量、地質調査、環境調査、道路設計を実施中



十津川道路(平成26年10月29日撮影)



川津道路(平成26年10月30日撮影)



辻堂バイパス(平成26年10月29日撮影)

◆農林業関係の復旧状況

◇農地及び農業用施設 ※すべて復旧完了済み

○農地 復旧完了箇所一覧

市町村名	箇所数	復旧対象施設
奈良市	4	田
五條市	6	田、畑
宇陀市	9	田
山添村	13	田、畑
曾爾村	3	田
御杖村	13	田、畑
吉野町	3	田、畑
大淀町	4	田、畑
天川村	5	田、畑
野迫川村	6	田、わさび田
十津川村	6	田、畑
東吉野村	2	田、畑
合計	74	-

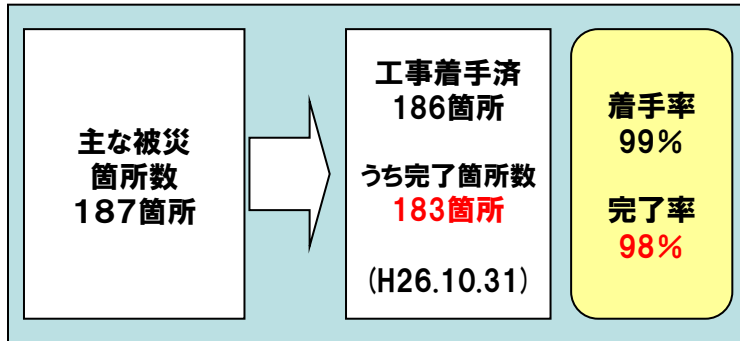
○農業用施設 復旧完了箇所一覧

市町村名	箇所数	復旧対象施設
五條市	2	ため池、農道
宇陀市	9	農道、水路
山添村	10	農道、水路
御杖村	7	農道、水路
明日香村	1	水路
大淀町	2	ため池、農道
野迫川村	2	ため池、農道
十津川村	1	水路
東吉野村	1	農道
合計	35	-

◇林道

【これまでの取組成果】

主な被災箇所187箇所のうち、**183箇所**が完了（平成26年10月末現在）



【前回(9月)との比較】

工事着手済 186箇所 → 186箇所

うち完了 182箇所 → **183箇所**

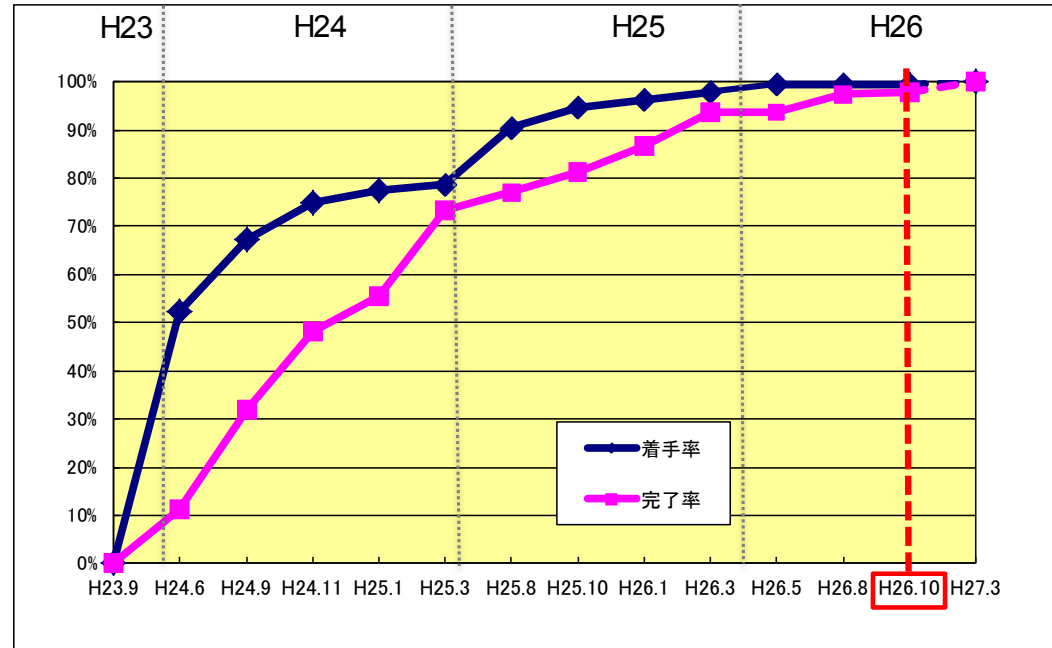
前回以降の主な完了箇所

〔 野迫川村コノ谷線4号箇所 〕

着手率 99% → 99%

完了率 97% → **98%**

進捗状況(実績と今後の予定・見込み)



【今後の取組予定】

・未復旧の4箇所について、平成26年度末までに完了予定

林道災害箇所の復旧・対策状況(平成26年度継続分)

番号	路線名	箇所	主な工種	完成目標	H26年10月末までの進捗状況
①	山崎谷線 7号箇所	十津川村 山崎	・路側擁壁工 ・舗装工	H26年 6月	・工事完了
②	川津今西線 4号箇所	十津川村 今西	・路側擁壁工 ・舗装工	H27年 3月	・土工施工中 ・擁壁工施工中 ・法面保護工施工中
③	川津今西線 5号箇所	十津川村 今西	・路側擁壁工 ・舗装工	H26年 6月	・工事完了
④	川津今西線 6号箇所	十津川村 今西	・路側擁壁工 ・舗装工	H26年 6月	・工事完了
⑤	奥千丈線 2号箇所	十津川村 杉清	・路側擁壁工 ・舗装工	H26年 7月	・工事完了
⑥	小井谷線 1号箇所	十津川村 杉清	・路側擁壁工 ・排水施設工	H26年 7月	・工事完了
⑦	小井谷線 4号箇所	十津川村 杉清	・路側擁壁工 ・土工	H26年 7月	・工事完了
⑧	コノ谷線 3号箇所	野迫川村 平	・路側擁壁工 ・土工	H26年12月	・土工施工中 ・路側擁壁工施工中
⑨	コノ谷線 4号箇所	野迫川村 平	・路側擁壁工 ・土工	H26年12月	・工事完了(10月完了)
⑩	コノ谷線 5号箇所	野迫川村 平	・路側擁壁工 ・土工	H26年 9月	・工事完了
⑪	桑の谷線 2号箇所	天川村 栃尾	・切土工 ・舗装工	H27年 3月	・発注準備中 (11月13日着工済み)
⑫	殿野坪内線 6号箇所	天川村 坪内	・路側擁壁工 ・舗装工	H26年12月	・土工施工中 ・路側擁壁工施工中



林道川津今西線4号(土工施工中)
平成26年10月17日撮影



林道コノ谷線4号(完成)
平成26年10月29日撮影

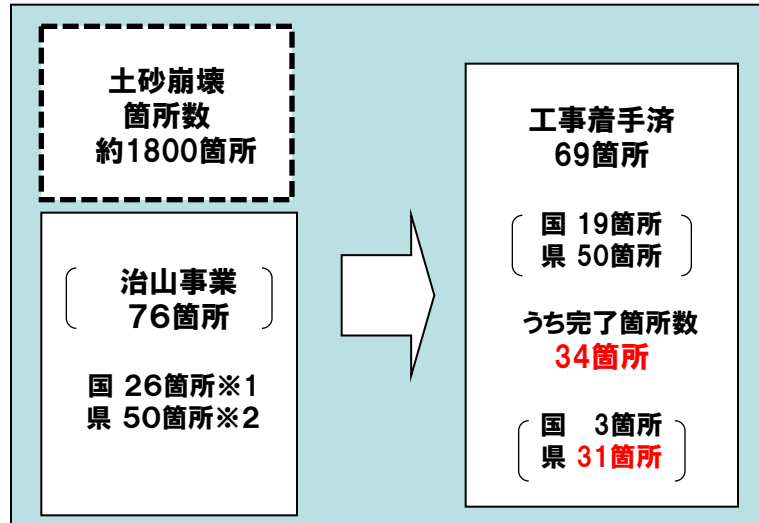


林道殿野坪内線6号(補強土壁工完了)
平成26年10月22日撮影

◇治山事業での林地崩壊の復旧状況

【これまでの取組成果】

治山事業も、順次実施中（69箇所です工事着手済み、うち34箇所です工事完了）
（平成26年10月末現在）



※1 国の事業箇所は、十津川地区民有林直轄治山事業全体計画に基づく箇所数（H23年度から33年度まで順次対応（計画は次ページ））

※2 県の事業箇所は、H25当初予算までの対応予定箇所 H26の新規箇所は11箇所（H27以降の箇所数は未定）

【前回（9月）との比較】

前回以降の主な完了箇所

〔 上北山村西原ナメゴ 〕

○主な県の治山工事の状況

御杖村
（神末地区）

着手前



平成25年10月29日撮影

○工事状況

・平成23年～26年度に谷止工を施工

現状

谷止工（施工中）
平成26年10月23日撮影上北山村
（西原ナメゴ地区）

着手前



平成23年9月11日撮影

○工事状況

・平成23年～26年度に谷止工を施工

現状

谷止工完成
平成26年9月30日撮影

○主な国の治山工事の状況

※ 国事業は「十津川地区民有林直轄治山事業全体計画」に基づく事業

【施工例】 十津川村折立(折立地区)

○工事状況

- ・平成23年民有林直轄治山災害関連緊急事業により対策工事を実施
- ・平成24、25年度 民有林直轄治山事業実施 26年度も継続して事業実施



法枠工(上部)完成
平成25年7月10日現在

現状



木製土留工、木製筋工完成
平成26年10月21日現在

【直轄治山事業】 十津川地区 施工予定期間

※H26.9月時点の計画(変更後の計画)。工事の進捗状況により今後の施工期間の変更の可能性あり。

地区番号	地区名	箇所名	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	事業実施期間	地区内の主な工種
①	宇宮原区域	テラ谷												H23~H28	溪間工12基、山腹工6.01ha(2箇所)
		濁谷												H24~H33	
②	長殿区域	長殿谷												H29~H33	山腹工2.17ha(1箇所)
③	内野区域	山天												H23~H27	溪間工8基、山腹工3.35ha(2箇所)
		内野												H23, 24, H26~30	
④	上野地区区域	河津谷												H24	溪間工3基、山腹工2.11ha(2箇所)
		高津谷												H23~H29	
⑤	西川区域	今西												H26~H33	溪間工4基、山腹工1.10ha(1箇所)
⑥	神納川区域	小井谷												H24	溪間工7基、山腹工4.05ha(4箇所)
		五百瀬1												H23~H32	
		三田谷												H27~H30	
		五百瀬2												H23~H28	
⑦	旭区域	宮谷											H28~H33	溪間工2基、山腹工1.70ha(1箇所)	
⑧	野尻区域	野尻												H23~H33	溪間工8基、山腹工3.88ha(4箇所)
		山崎谷1												H25~H28	
		山崎谷2												H27~H29	
		山崎谷3												H28~H32	
⑨	折立区域	折立											H23~H27	山腹工1.14ha(1箇所)	
⑩	堂平区域	堂平											H23~H30	山腹工3.35ha(アソ工、集水ホ-リンク工)	
⑪	赤谷区域	赤谷a												H29~H33	山腹工10.08ha(2箇所)
		赤谷b												H25~H28	
⑫	天川区域	川合												H23~H25	溪間工7基、山腹工6.30ha
		坪内												H23~H28	
⑬	野迫川区域	栃尾												H23~H28	溪間工1基、山腹工3.70ha(2箇所)
		北股												H29~H33	
計	13区域	檜股												H23~H28	26箇所

【今後の取組予定】

- ・ 県は、多数の林地崩壊箇所のうち、緊急度・重要度の高い箇所(川上村高原地区など)を優先的に選定し、早期に対策を実施
- ・ 国は、十津川地区民有林直轄治山事業全体計画に基づき、対策工事を実施

◇第34回全国豊かな海づくり大会～やまと～

ゆたかなる 森がはぐくむ 川と海

- 主催 豊かな海づくり大会推進委員会
第34回全国豊かな海づくり大会奈良県実行委員会
- 開催日 平成26年11月15日(土)、16日(日)
- 開催場所 大淀町、川上村、五條市、橿原市

■ 参加数延べ 約21,000人

式典行事

- ・開催日:平成26年11月16日(日)午前
- ・場 所:大淀町文化会館あらかしホール
- ・参加者数:525人(県内168人、県外357人)
- ・内 容:表彰、優秀作文の朗読、大会決議等



放流行事

- ・開催日:平成26年11月16日(日)
- ・場 所:五條市吉野川大川橋下流河川敷
- ・来場者数:約2,000人
- ・内 容:放流行事、ステージイベント、物産販売等

関連行事

- ・開催日:平成26年11月15日(土)、16日(日)
- ・場 所:橿原市JAならけんまほろばキッチン
- ・来場者数:延べ約18,000人
- ・内 容:ステージイベント、企画展示、体験イベント、物産販売等

放流・歓迎行事

- ・開催日:平成26年11月16日(日)午後
- ・場 所:川上村おおたき龍神湖
- ・参加者数:331人(県内75人、県外256人)
- ・内 容:歓迎演奏、水上歓迎行事、放流行事



歓迎レセプション・作品御覧

- ・開催日:平成26年11月15日(土)
- ・場 所:橿原ロイヤルホテル
- ・参加者数:191人(県内94人、県外97人)
- ・作品御覧:絵画・習字コンクール知事賞6点の御覧

◆産業の復興状況

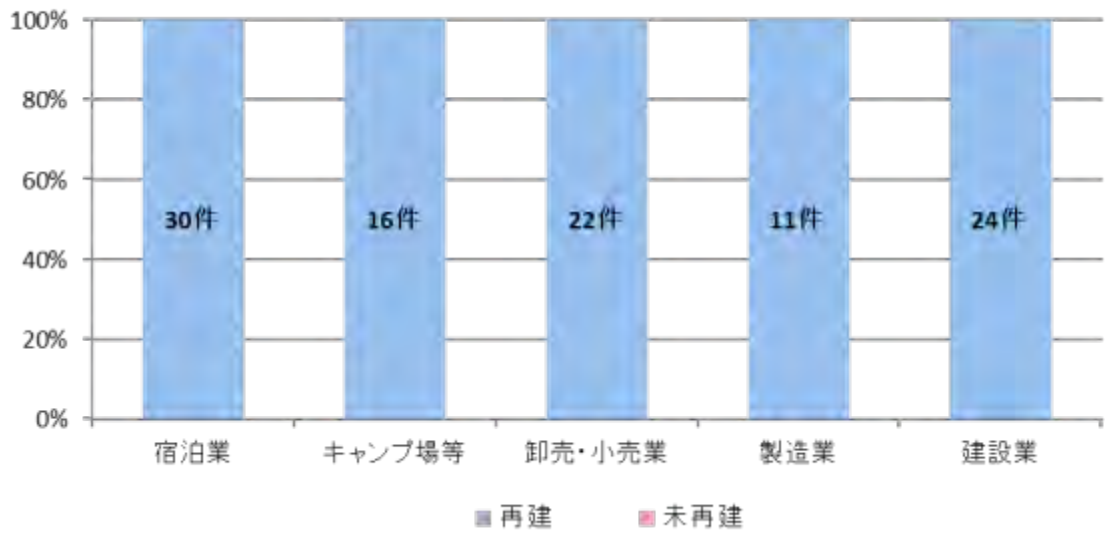
【これまでの取組成果】

- 企業の再建率 再建意欲のある事業所全てが事業再建済み
- 資金貸付実績 172件 約47億円（被災直後～平成26年10月末実績）
- 物産展の開催、出展を支援 平成25年度 9市町村の取組を支援

再建状況調査

・再建意欲のある被災中小企業者全てが事業再建（再建率100%）。

業種別再建率



被害件数A	再建業者数B	廃業C	再建率 $\frac{B}{A-C}$
122	103	19	100%

※再建事業者数には、一部再建を含む
 ※廃業の理由：経営者等の死亡4件、施設・設備の修復を断念11件、高齢による4件



被災した倉庫が復旧し
事業再建した製造業者(天川村)

災害復旧対策資金貸付

- 貸付実績(H23年11月～H26年10月)
件数 172件 貸付額 4,697百万円
(H26年5月末実績以降の新規貸付は無し)
- 被災中小企業者等による資金の借入れが進み、H24年7月以降の新規貸付は減少
- 貸付実績の多い業種 土木建築等 50.6% 旅館・ホテル12.8%

被災地域の物産販売促進支援

物産展等の開催経費を市町村に対し支援

○H26年度 執行予定額 11,145千円

- ・実施市町村 1市2町7村(五條市・吉野町・下市町・黒滝村・天川村・野迫川村・十津川村・上北山村・川上村・東吉野村)
- ・出展する主な物産展
 - H26.9.21～23 世界遺産10周年記念「奈良・吉野路観光と物産展」(東京都)
 - H26.10.5 なんゆう祭2014(五條市)
 - H27.3.14～15 旅まつり名古屋2015(名古屋市)



奈良・吉野路観光と物産展(H26.9.21～23)
(東京・新宿駅西口広場イベントコーナー)

【今後の取組予定】

融資制度を継続するとともに、物産販売促進支援も引き続き実施し、被災事業者の事業再建を支援

台風12号災害復旧対策資金

融資枠 500,000千円 貸付限度額 設備 80,000千円 運転 80,000千円
貸付利率 1.000% 貸付期間 10年(うち1年据置)

被災地域の物産販売促進支援事業

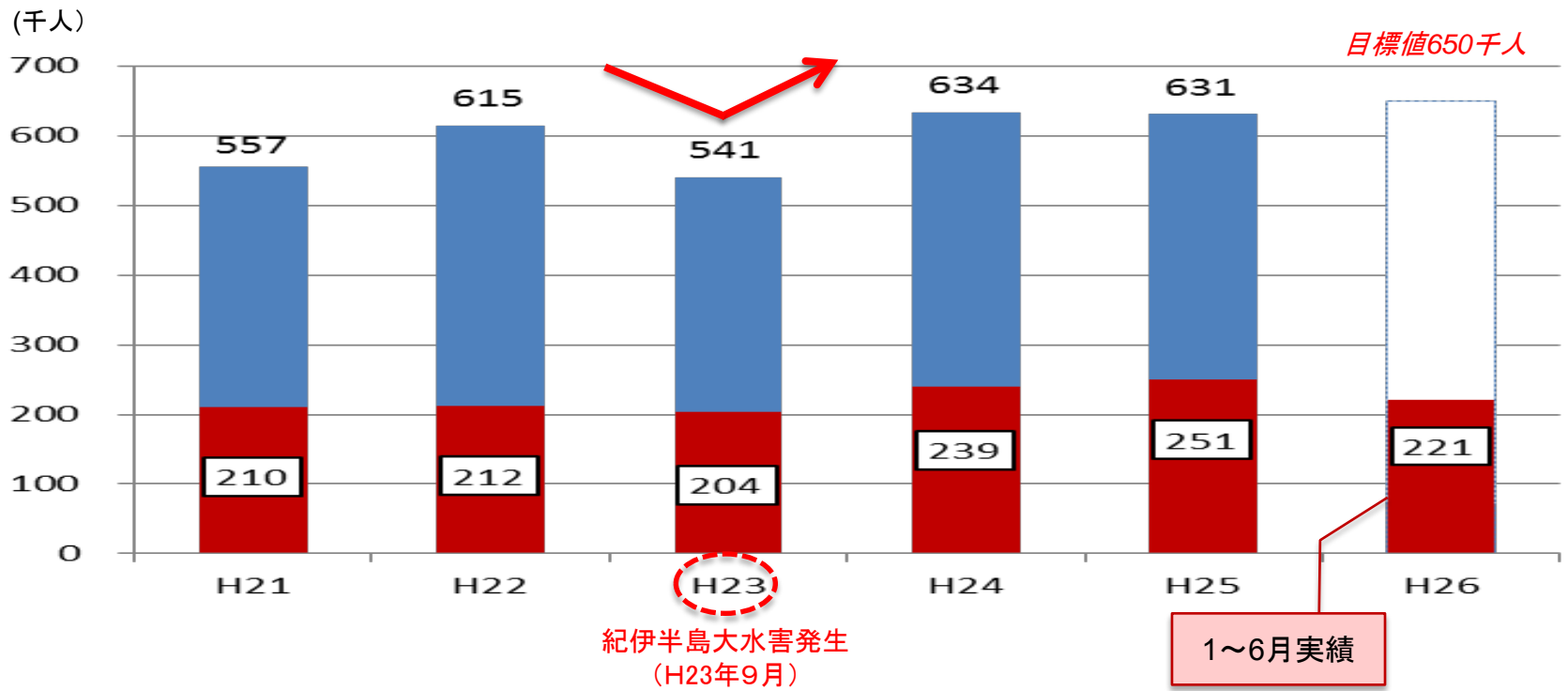
平成26年度は集中復旧・復興期間の最終年度にあたることから、その集大成として 本事業を実施し、紀伊半島大水害からの復興をアピールする。そのため県内、東京、名古屋において被災地市町村が共同して出展する。

◆観光業の復興状況

【これまでの取組成果】

- ・観光プロモーション、プレミアム宿泊旅行券発行、南部地域での会議の開催支援などの取組を実施
- ・こうした取組の効果などにより、平成24年の宿泊客数は、目標としていた被災前（平成22年）の宿泊客数を上回り（3%増加）、平成25年は同水準を維持

宿泊客数の動向(南部・東部地域)



※県南部・東部地域の宿泊客は、被災直後のH23年9月～11月に大きく減少

○観光の復興への取組状況

(1) 南部地域の情報発信拠点としての「JAならけんまほろばキッチン」内、観光案内所

- ・コンシェルジュの配置。電子機器を活用し、人対人の対応による旬の観光情報を提供(H25.4.14オープン)
利用者 H25年度:45,983人 H26年度:28,252人(10月末現在)
- ・市町村等との連携イベント開催
開催実績 H25年度 : 7回(参加者14,000人)
H26年度 : 8月17日 大淀町(参加者835人)
8月31日 明日香村(参加者970人)
10月18日 東吉野村(参加者1,100人)



東吉野村との連携イベント
(平成26年10月18日)

(2) プレミアム宿泊旅行券の発行

- H26年度 8市町村参加 25,200枚発行予定(四期に分けて販売)
- ※五條市、吉野町、天川村、野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村、川上村
発行枚数:22,950枚 販売枚数:17,749枚(10月末現在)



旅行雑誌「じゃらん」10月号掲載記事

(3) 南部地域での会議等開催支援

- H25年度 受付:73件 宿泊人数:6,554人
- H26年度 受付:59件 宿泊予定人数:4,946人(10月末現在)

(4) 観光プロモーション等

- ・旅行雑誌「じゃらん」掲載
8月号(十津川村、五條市、御所市)
9月号(川上村、上北山村、下北山村)
10月号(天川村、吉野山)
- ・宿泊予約サイト「じゃらんnet『旅トピ』」ページに告知バナーと特集ページを掲載(8月1日~9月30日、10月1日~2ヶ月間)
- ・スマホアプリ「週刊じゃらん」内に奥大和の特集ページ制作・配信
(8月7日~12週間公開)
- ・**奈良県観光キャンペーン(10月31日)**
平成27年度春夏商品のプロモーション実施
(五條市、十津川村、上北山村、川上村)



奈良県観光キャンペーン
(平成26年10月31日)

(5) スポーツを核とした観光振興

- ・カヌーフェスティバルの開催支援 会場:おおたき龍神湖
 カヌー教室 開催時期:9月20日(土) 参加者:97名
 カヌーフェスティバル 開催時期:10月18日(土) 参加者:50名
- ・サイクルスポーツ「ヒルクライム大台ヶ原since2001」の開催支援
 開催時期:9月14日(日)
 開催場所:上北山村河合～大台ヶ原 参加者:742名
- ・ツール・ド・紀伊2014
 ※奈良、三重、和歌山の3県の霊場や観光スポットを自転車で巡る
 モバイルスタンプラリーの実施、face bookで情報交換
 開催期間:9月13日～平成27年3月16日
 参加登録者:264名(10月末現在)



カヌーフェスティバル「カヌー教室」
(平成26年9月20日)



「ヒルクライム大台ヶ原since2001」
(平成26年9月14日)



ツール・ド・紀伊2014 フォトコンテスト応募作品より

【今後の取組予定】

観光案内所における観光情報提供

「JAならけんまほろばキッチン」内で、市町村等との連携イベントを開催

南部宿泊観光PR事業

市町村が発行するプレミアム宿泊旅行券に対する助成

観光プロモーション

雑誌、インターネット、スマートフォン対応アプリ等を活用したPR

旅行雑誌じゃらん掲載予定

スポーツイベントを活用した誘客促進

紀伊半島三県クラブスポーツ大会(11月22～23日)

強化合宿(12月19～22日)

◆福祉の充実

【これまでの取組成果】

- ・五條市大塔町、十津川村において、山間地域における地域包括ケアの実現に向けたモデル事業を実施
大塔町：高齢者の見守りや配食サービス等の生活支援がスタート
十津川村：高齢者実態把握調査を実施し、高齢者向け福祉施設の在り方について検討
- ・シンポジウムの開催等を通じて、モデル事業の取組内容を他地域へ普及
- ・避難者のこころの不調の予防とケアを行うため、臨床心理士を派遣（112回・対象者延べ255名）

○モデル事業

(1)五條市大塔町

地域住民や関係団体、行政等による地域検討会「おおとう元気会議」が立ち上がり、地域で暮らし続けるための仕組みづくりとして、様々な取り組みが広がる

- ・郵便局や消防分署が高齢者の見守りに参画、避難者の一時帰宅を学生ボランティアが支援
- ・財団法人大塔ふる里センターによる配食サービス開始、大塔支所による買い物バスツアーを実施
- ・「地区別懇談会」を実施し、災害時の避難方法等について検証 等

(2)十津川村

復旧・復興のための庁内検討会議「活力と魅力あふれる村づくり推進委員会」設置

→「高森のいえプロジェクト推進委員会」を立ち上げ、村福祉事務所を中心に、高齢者向け福祉施設について検討

【地区懇談会の様子】



災害時の避難方法等を検証

○モデル事業の他地域への普及

- ・シンポジウムを開催し、「おおとう元気会議」の取り組みを紹介（参加者約120名）（H25年11月3日）
- ・地域包括支援センター長・市町村担当課長合同会議で、「おおとう元気会議」の取り組みを紹介（H26年5月27日）

○臨床心理士の派遣

- ・住民、行政職員向けのカウンセリング、コンサルテーションを実施

（H23年度からH26年10月までの実績：**五條市35回・延べ72名、天川村28回・延べ52名、野迫川村26回・延べ60名、十津川村23回・延べ71名**）

【今後の取組予定】

- ・「おおとう元気会議」におけるこれまでの取組成果を検証（H27年1月開催予定）
- ・十津川村「高森のいえプロジェクト推進委員会」、「活力と魅力あふれる村づくり推進委員会」において、高齢者向け福祉施設及び利用者像等について検討
- ・介護保険制度の改正に係る市町村説明会等において、「おおとう元気会議」の取組を紹介し、他地域への普及を図る
- ・臨床心理士の派遣においては、仮設住宅から自宅や復興住宅等に帰宅した住民のこころのケアのため、市村の保健師に対するコンサルテーションに力を入れ、きめ細かな相談体制を構築・実施

◆安全・安心への備え

◇深層崩壊のメカニズム解明と対策研究

【これまでの取組成果】

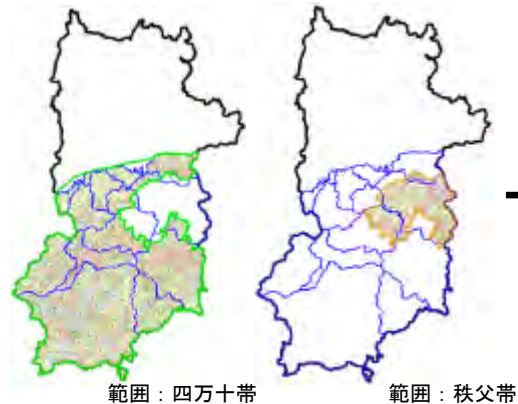
- ・ 深層崩壊研究会（座長：京都大学 藤田教授）を設置（平成24年2月1日）
- ・ 「紀伊半島大水害 大規模土砂災害アーカイブ」ホームページの開設（平成24年10月5日）
- ・ 「深層崩壊のメカニズム解明に関する現状報告（平成25年6月版）」の公表（平成25年6月11日）
- ・ 国際防災学会インタープリバント2014のプレイベントの開催（平成25年9月5日）
- ・ 紀伊半島大水害の教訓を踏まえ、深層崩壊の危険度を把握し、警戒避難に活用するため、『奈良県深層崩壊マップ』及び『奈良県深層崩壊マップの解説』を公表（平成26年9月5日）

○取り組み

・『奈良県深層崩壊マップ』及び『奈良県深層崩壊マップの解説』をマップ作成範囲に該当する11市町村へ配布。配布後、11市町村の防災担当職員を個別に訪問し、『奈良県深層崩壊マップ』の概要および深層崩壊に関する調査・研究の現状について説明を実施。



奈良県深層崩壊マップの概要説明（東吉野村）



『奈良県深層崩壊マップ』
(奈良県HPに掲載)

+



『奈良県深層崩壊マップの解説』

【今後の取組予定】

- ・ 集中復旧・復興期間中の深層崩壊のメカニズム解明に関する研究結果及び考察をとりまとめる
- ・ 紀伊半島大水害で発生した大規模土砂災害に関する調査・収集・分析した資料を整理し、公表する

◇監視・警戒・避難のシステムづくり

【これまでの取組成果】

- ・大規模土砂災害監視・警戒・避難システム検討会※を設置（平成23年12月15日）
（※学識者、国、県（奈良、三重、和歌山）、五條市、天川村、野迫川村、十津川村が主要な参加メンバー）
- ・モデル地区（天川村：1地区、十津川村：2地区）を設定し、大規模土砂災害を想定した総合的な防災システムの検討に着手（平成25年2月5日）
- ・深層崩壊セミナーを開催（約200名が参加）（平成25年11月22日）
- ・土砂災害（含：深層崩壊）に対する地域防災力の向上を図るため、モデル地区での取組を県南部の自治体へ説明し、意見交換を実施
- ・第11回大規模土砂災害監視・警戒・避難システム検討会（平成26年8月27日開催）において、土砂災害（含：深層崩壊）に対する地域防災力向上を図る目的で検討している『土砂災害地域防災マップづくりガイドライン』（案）、『土砂災害地域防災マップづくり事例集』（案）を提示し、意見交換を実施

○取り組み

- ・土砂災害に対する監視・警戒・避難の取り組み（地域防災力向上の仕組みづくり、地域防災計画の見直し など）について、県南部の市町村防災担当職員と意見交換を実施中。
- ・土砂災害パネル展を開催し、地域住民へ土砂災害への備えについて、周知・啓発活動を実施。



土砂災害に対する監視・警戒・避難の取り組みについて意見交換（川上村）



模型（深層崩壊と表層崩壊の2種類）を展示し、実演

「土砂災害パネル展

ー土砂災害から身を守るためにー

イオンモール郡山：10月2日（木）～ 8日（水）

イオンモール橿原：10月9日（木）～15日（水）

模型の実演状況
（左：表層崩壊、右：深層崩壊）

【今後の取組予定】

- ・『土砂災害地域防災マップづくりガイドライン』（案）、『土砂災害地域防災マップづくり事例集』（案）について、市町村や検討会での意見を踏まえ、とりまとめる
- ・集中復旧・復興期間中の監視・警戒・避難システムづくりについてとりまとめる

○国際防災学会インタープリイベント2014及び連携企画(11月24~28日)において、奈良県から、土砂災害防止・減災に関する情報を世界へ向けて発信



国際シンポジウム INTERPRAEVENT2014

強靭さを備えた 社会を構築する ための減災対策

CPD講習会
(申請中)



近年、世界各地で気候変動の影響による豪雨や台風、地震、火山噴火などによる大規模な土砂災害が頻発しています。これらの様々な現象に対して、適切な対策を検討し、適宜に実行していく必要があります。そこで、2011年9月に台風12号により大規模な土砂災害が発生した奈良県で、国際防災学会である「インタープリイベント2014」を開催し、我が国と海外の土砂災害の防災・減災に関する研究成果を共有することになりました。

期 日 2014年**11月25日(火)~28日(金)**
開催地 奈良県奈良市(会場:奈良県新公会堂)
参加費 (シンポジウム) 聴取者・聴取者(石巻職員)25,000円
 学生・10,000円・聴取者(10,000円)
 聴取者:1,000円/日
 (主催者賛助会) 5,000円(聴取者付き)
 (奈良県賛助会) 5,000円

参加方法 公式サイトホームページより事前申し込み登録をしてください。

日程	午前	午後
11/25(火)	受付	開会式/講演講座
11/26(水)	日曜講演	日曜講演/ ポスターセッションコアタイム
11/27(木)	現地視察研修	現地視察研修
11/28(金)	日曜講演	パネルディスカッション/閉会式

備 考 6月詳しい日程等は、公式サイトホームページをご覧ください。
 ※登録する定員は有限です。
 ※ポスターセッション会場では、企業によるブース出展や行政機関によるパネル展示も行います。

お問合せ
 インタープリイベント2014 実行委員会事務局 電話:03-6380-9044
 〒162-0093 東京都千代田区千代田4-5-1(一) 国際防災協会

国際シンポジウムINTERPRAEVENT2014ホームページ
<http://interpraevent2014.com/>



五條市大規模土石流の被災谷間地帯の様子



防災工場の天然ダム(インドネシア)

無料開放のお知らせ
 (先着200名 配布終了のみ)

地域住民の皆さんには、
 28日(金)の「開会式/日曜講演」を
 無料で開放致します。(同時参加可)

聴取者参加の申し込み先
 (下記ホームページからご参加ください)

聴取者参加の申し込み先
 (下記ホームページからご参加ください)

聴取者参加の申し込み先
 (下記ホームページからご参加ください)

[検索]

11月25~28日の国際防災学会インタープリイベント2014

国際シンポジウム「インタープリイベント2014」 連携企画 防災セミナー



紀伊半島大水害から3年 "大規模災害に備える"

~奈良から世界へ情報発信~

3 Years after the Great Kii Peninsula Flood "Preparing for Major Disasters"
 -Words from Nara to the World-

平成26年

11月24日 (月・祝)

13:30 ~ 16:30 [開場 13:00]

場所: 奈良県文化会館 小ホール

定員: 250名

入場無料

【プログラム (予定)】

- 国際シンポジウム「インタープリイベント2014」開催記念特別企画
 「インタビュー形式による座談会 ~奈良から世界へ情報発信~」 ※同時進行を行います。
 出演: インタープリイベント本部長、オーストリア砂防部長、スイス河川局長、奈良県知事、ほか
- 防災講演
 京都大学大学院 教授 水山 直久
- 紀伊半島大水害 (H23年9月) に対する3年間の取組状況について
 ① 京都大学防災研究所 教授 藤田 正治
 ② 奈良県農土マネジメント部 企画課 企画課長

(主催) 本会 (共催) 紀伊半島インタープリイベント協議会 (協賛) 防災学会、奈良県防災情報センター
 後援: 国土交通省 (注) 国土研究所、(一社) 奈良県水防協会 (協力) 三輪町、河内町、浪速区(各) 日本赤十字社(各) 日本赤十字社(各) 日本赤十字社(各)



<会場アクセス>
 ① 奈良県文化会館 小ホール (会場)
 ② 奈良県文化会館 大ホール (会場)
 ③ 奈良県文化会館 会議室 (会場)
 ④ 奈良県文化会館 研修室 (会場)
 ⑤ 奈良県文化会館 展示室 (会場)
 ⑥ 奈良県文化会館 図書室 (会場)
 ⑦ 奈良県文化会館 多目的室 (会場)
 ⑧ 奈良県文化会館 会議室 (会場)
 ⑨ 奈良県文化会館 研修室 (会場)
 ⑩ 奈良県文化会館 展示室 (会場)
 ⑪ 奈良県文化会館 図書室 (会場)
 ⑫ 奈良県文化会館 多目的室 (会場)

11月24日の防災セミナー (県主催)

◇災害時のライフライン(電気・通信等)の強化

【これまでの取組成果】

- ・避難所の機能強化（非常用電源の整備129箇所、衛星携帯電話の整備83台増加など）
- ・消防防災ヘリコプターテレビ電送システムの整備 など

◇記録の整備、次世代への継承

【これまでの取組成果】

- ・災害記録誌『紀伊半島大水害の記録』を発行（平成25年3月）
- ・災害記録誌『歴史から学ぶ 奈良の災害史』等が発行（平成26年3月）
- ・防災教育教材『「災害から身を守る」紀伊半島大水害の記録』（DVD）を作成（平成26年3月）
- ・『奈良の災害史』パネル展を実施（平成26年9月2日～19日）
- ・『奈良の災害史』発行記念講演会を開催（平成26年9月6日）

など



『奈良の災害史』発行記念講演会

【今後の取組予定】

災害時のライフラインの強化

- ・非常用電源の確保等（避難所の非常用電源や衛星携帯電話等の整備の推進など）
- ・施設・設備の強化（通信線・送配電線の複数ルート化や設備の強化など）
- ・防災行政無線の整備（県防災行政無線の再整備及び市町村防災行政無線の整備）

記録の整備、次世代への継承

- ・災害種別ごとの防災の日・防災週間等の周知・浸透

◇市町村地域防災計画見直しの支援

【これまでの取組成果】(平成26年)

- ・3月 : 奈良県地域防災計画の見直し
- ・4~5月 : 市町村説明会、個別訪問調査等を実施
- ・6月 : 防災計画見直しモデル市町村として10団体を設定
- ・7月 : 第1回モデル市町村連絡会議を開催
- ・8月 : モデル市町村個別訪問相談を実施
- ・9月 : **第2回モデル市町村連絡会議を開催**
- ・10月 : **市町村災害対応研修会の開催(住家の被害認定調査研修会)**
- ・11月 : **野迫川村等3村が、未策定であった水害・土砂災害の避難勧告等発令基準を策定**

防災計画見直しモデル市町村

五條市、香芝市、葛城市
川西町、三宅町、上牧町、王寺町
吉野町、下市町、天川村

○目的

- ・災害対策基本法の改正や、奈良県地域防災計画の見直し等を踏まえ、県内市町村の行う地域防災計画の見直しを支援する。

○具体的な支援内容(主に「住民避難」に関する支援を実施)

- ・避難勧告等に関する具体的な発令基準の作成
- ・指定緊急避難場所、指定避難所の指定
- ・住民参加型の防災訓練の実施 等

市町村災害対応研修会



【今後の取組予定】

- ・モデル市町村連絡会議の継続的開催
 - 例) 災害種別(地域特性)ごとのブロック連絡会議及び全体会議 等
 - ・個別支援を展開
 - 例) モデル市町村の庁内会議に出席して助言、地域の防災訓練に参加 等
 - ・全国の災害事象や、先進的対策事例の調査・研究
 - 例) 避難勧告等の発令判断における実例の調査 等
- ⇒今年度のモデル市町村の取り組みを「防災計画モデル市町村取組事例集」としてとりまとめ、次年度の市町村地域防災計画見直しに活用(～平成28年3月)

◆地域産業復興の取組

【これまでの取組成果】

- ・なんゆう祭（南部地域産業復興推進大会）の開催（平成25年11月23、24日）延べ4,950人参加
- ・市町村の意向を踏まえ、今後重点的に検討・推進する事業テーマを設定し、市町村と連携して具体的な事業を展開中。（農産品等による6次産業化の推進（下北山村の春まな）、有害鳥獣の駆除及び活用（上北山村加工施設整備）など）

○なんゆう祭2014

地域住民や県、市町村、団体等の連携・協力のもと、奈良県南部東部地域の活性化を図ることを目的に開催

- ・地域特産品等の物産展の開催
- ・特産品の開発と地域の魅力の発掘、創造
- ・地域の風土、歴史、文化などの魅力の発信



なんゆう祭2014(4日)
【おもてなしライブの様子】



なんゆう祭2014(5日)
【会場の様子】

◎開催日 平成26年10月5日(日)(前夜祭4日(土))

◎開催会場 「五條市大川橋下河川敷」(メイン会場)

◎開催内容

【4日 17:00～19:30 (前夜祭)】

- ・おもてなしライブ

【5日 10:00～16:00】

- ・南部東部地域物産展(96店舗)
- ・ステージ(ゆるキャラ大集合、地元小中高生による吹奏楽演奏、市町村PR等)
- ・やな漁体験
- ・柿狩りと柿の渋抜き体験
- ・五條新町ウォーク
- ・サテライト会場(藤岡家住宅、花吉野プラザ(大淀町)、かもきみの湯(御所市))
- ・ラフティング体験
- ・あかね染め体験

◎実施主体

南部東部地域活性化イベント開催協議会

(奈良県、南部東部地域の19市町村、ならコープ等で構成)

◎来場者数 4日:約1,000人 5日:約20,000人

◆ふるさと復興協力隊

【これまでの取組成果】

- ・復興活動、地域協力活動、地域おこし活動などに従事する人材を県が直接採用し、市町村に配置
19名配置（平成26年11月1日現在）
- ・隊員向け研修会の実施（4回・延べ67人受講）
- ・任期終了後の定住を支援するため、協力隊員及び関係市町村へのヒアリングを実施

配置済の隊員の主な業務

五條市	3名	仮設住宅入居者などの生活支援等
宇陀市	2名	観光復興支援、鳥獣害対策等
高取町	1名	イベント企画運営等
下市町	2名	家具づくり等の産業復興支援、 集落点検事業支援、地域情報の発信等
黒滝村	1名	農産物の生産・加工支援等
天川村	1名	特産品の商品化・発掘販売促進支援等
野迫川村	2名	「のせ川のまき」を使った産業復興支援、 観光情報の発信・誘客支援等
十津川村	2名	古民家を改修した宿泊施設の管理運営、 木彫り・木工指導等
上北山村	3名	村おこしメニュー造成、村情報の発信、 鳥獣害対策・獣肉加工支援等
下北山村	2名	地域特産物の生産販売支援等



「のせ川のまき」を販売するアンテナショップ
（チャレンジショップ「夢CUBE」内に
H26.11.15にオープン（奈良市内）

【今後の取組予定】

- ・ふるさと復興協力隊配置
引き続き、南部・東部地域の市町村に「ふるさと復興協力隊」を配置（25名予定）
- ・ふるさと復興協力隊等定住支援
協力隊の任期（3年間）終了後の定住を支援するための方策を検討

